

616. 2-H82-2ウ



616.2

H82

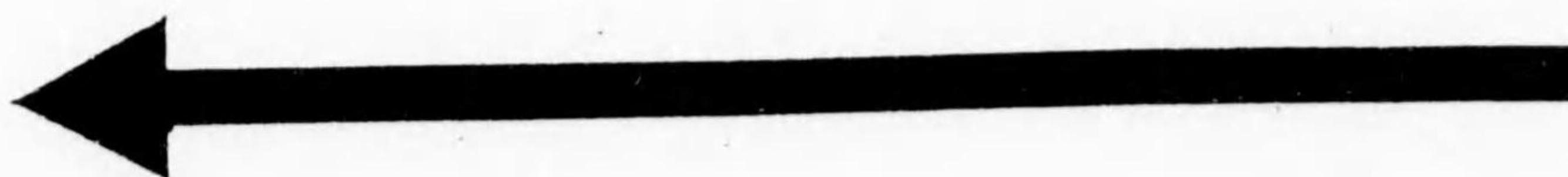
2

水稻農林二十號ニ就テ

北海道農業試験場編



始



616,2
H82
2

980
86

昭和十八年三月

水稻農林二十號ニ就テ

北海道農業試験場

發行所寄贈本

序

水稻ノ優良品種ヲ育成センガ爲本省ニ於テハ昭和二年度ヨリ氣候土質等ニ依リ全國ヲ八區ニ分チ、各區毎ニ一地方農事試驗場ヲ指定シ經費ノ全額ヲ交付シテ本省農事試驗場ヲ樞軸トシ相互ニ密接ナル連絡ヲ保チツツ試驗ヲ施行スルノ組織ヲ採レリ。即チ本省農事試驗場ニ於テハ多數品種ニ付人工交配ヲ行フト共ニ雜種初期世代ノ處理ヲ行ヒ其ノ有望ト認ムル雜種ヲ指定地方農事試驗場ニ配付シ、指定地方農事試驗場ニ於テハ之ガ地方的適應性ノ檢定ニ關スル試驗ヲ行ヒツツ固定ヲ圖リ、斯クシテ育成シタル優良品種ニ對シテハ本省ニ於テ之ニ新タナル品種名ヲ附スルコトトセリ。而シテ本組織ニ依リ育成セル優良新品種ハ既ニ三十八品種ニ及ベリ。其ノ内北海道農業試驗場ニ於ケル本省指定水稻新品種育成試驗地ニ於テ昭和十六年六月育成セル「水稻農林二十號」ノ特性竝成績ノ概要ニ付之ヲ印刷ニ附スルコトトセリ

昭和十八年三月

農 林 省 農 政 局



農林省指定水稻新品種育成試驗地ニ於テ育成セル品種一覽表

品 種 名	兩 親 名	育 成 年 月	育 成 試 驗 地	獎 勵 品 種 採 用 道 府 縣 名 (昭 和 十 八 年 現 在)
水稻農林一號	森田早生 × 陸羽一三三號	昭和六年三月	新潟縣立農事試驗場	青森、岩手、茨城、栃木、群馬、千葉、埼玉、東京、高知、新潟、富山、石川、福井、岐阜、滋賀、山口
水稻農林二號	新關 取 × 畿内第一八八號	昭和八年二月	兵庫縣立農事試驗場	千葉、大阪、福岡、兵庫、香川、和歌山
水稻東北九號	森田早生 × 陸羽一三三號	昭和八年三月	宮城縣立農事試驗場	宮城
水稻農林三號	撰 一 × 竹 成	昭和八年三月	埼玉縣立農事試驗場	茨城、栃木、群馬、埼玉
水稻關東二號	撰 一 × 竹 成	昭和八年四月	埼玉縣立農事試驗場	東京
水稻北海種一號	小川 糯 × 走 坊 主	昭和九年三月	北海道農事試驗場	北海道
水稻農林四號	陸羽一三三號 × 酒井金子	昭和十年三月	新潟縣立農事試驗場	山形、福島、栃木、新潟、石川、福井、山梨
水稻北陸十二號	奧羽二號 × 萬 石	昭和十年三月	新潟縣立農事試驗場	栃木、新潟
水稻農林糯五號	神力 糯 × 雄 町	昭和十年三月	兵庫縣立農事試驗場	三重、大阪、兵庫、山口、愛媛、高知、福岡、佐賀
水稻東山十二號	上 州 × 中 稻 神 力	昭和十年五月	岐阜縣立農事試驗場	長崎、三重
水稻農林六號	上 州 × 撰 一	昭和十一年二月	兵庫縣立農事試驗場	栃木、群馬、神奈川、福井、山梨、長野、三重、滋賀、京都、兵庫、奈良、和歌山、鳥取、島根、廣島
水稻農林七號	陸羽一三三號 × 神龜四二號	昭和十一年三月	宮城縣立農事試驗場	山口、香川、愛媛、高知、長崎、岐阜
水稻農林八號	銀 坊 主 × 朝 日	昭和十二年二月	兵庫縣立農事試驗場	宮城、山形、茨城
水稻農林九號	早生チンコ × 走 坊 主	昭和十二年四月	北海道農事試驗場	埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、岐阜、静岡、愛知、三重、滋賀、京都、兵庫、奈良、大分、福岡、佐賀
水稻農林十號	伊 勢 穂 × 改良 大 場 主	昭和十二年四月	島根縣立農事試驗場	山口、島根、鳥取、京都、石川、栃木、福島
水稻農林十一號	膽 振 早 生 × 早 生 坊 主	昭和十二年四月	北海道農事試驗場	北海道
水稻東北十四號	陸羽一三三號 × 新 一 號	昭和十二年四月	宮城縣立農事試驗場	岩手、宮城

第一圖版



(比較) 坊主六號 水稻農林二十號 (比較) 早生富國

(昭和十四年産 1本植材料=依ル)
標尺1目盛 5種

品 種 名	兩 親 名	育 成 年 月	育 成 試 驗 地	獎 勵 品 種 = 採 用 / 道 府 縣 名 (昭 和 十 八 年 現 在)
水稻關東十一號	撰 一 × 荒	昭和十二年四月	埼玉縣立農事試驗場	山梨、埼玉
水稻農林十二號	大分三井三〇號 × 贊	昭和十三年三月	熊本縣立農事試驗場	佐賀、長崎、熊本、鹿兒島、愛媛、香川、山口
水稻東山十九號	道海 神力 × 竹	昭和十三年五月	岐阜縣立農事試驗場	岐阜
水稻東山二十三號	名倉穗十九號 × F二	昭和十三年五月	岐阜縣立農事試驗場	岐阜
水稻農林十三號	銀 坊 主 × 丹後 中稻	昭和十四年一月	島根縣立農事試驗場	山口、島根、鳥取、京都、廣島
水稻農林十四號	朝 日 × 昭 和 早 生	昭和十四年四月	埼玉縣立農事試驗場	茨城、栃木、群馬、山梨、福島
水稻東北十五號	陸羽一三二號 × 酒井金子	昭和十四年四月	宮城縣立農事試驗場	宮城
水稻北陸十九號	陸田朝日三號 × 新八八號	昭和十四年五月	新潟縣立農事試驗場	新潟
水稻近畿三十三號	畿 内 剛 力 × 旭	昭和十五年四月	兵庫縣立農事試驗場	千葉、京都、岡山、廣島、鳥根、愛媛
水稻東山三十三號	名 倉 穗 × 朝	昭和十五年四月	岐阜縣立農事試驗場	奈良
水稻北陸十四號	刈 羽 神 種 × 新 一 號	昭和十五年四月	新潟縣立農事試驗場	石川
水稻農林十五號	銀 坊 主 × 走 坊 主	昭和十五年四月	北海道農事試驗場	北海道
水稻農林十六號	晚 白 笹 × 陸羽一三二號	昭和十五年四月	岐阜縣立農事試驗場	青森、岩手、宮城、福島
水稻農林十七號	旭 龜 / 尾	昭和十五年五月	宮城縣立農事試驗場	青森、秋田、山形、千葉、長野
水稻東北二十號	奧 羽 二 號 × 陸羽一三二號	昭和十五年五月	宮城縣立農事試驗場	靜岡
水稻北陸十一號	奧 羽 二 號 × 萬 石	昭和十六年四月	新潟縣立農事試驗場	山形、新潟
水稻東山三十三號	奧 羽 二 號 × 陸羽一三二號	昭和十六年四月	宮城縣立農事試驗場	山形
水稻農林十八號	大分三井三〇號 × 贊	昭和十六年六月	熊本縣立農事試驗場	福岡、佐賀、熊本、大分、宮崎、鹿兒島、長崎
水稻農林十九號	走 坊 主 × 二	昭和十六年六月	北海道農事試驗場	北海道
水稻農林二十號	水稻農林一號 × 贈 振 早 稻	昭和十六年六月	北海道農事試驗場	北海道
水稻農林三十一號	京 旭 × 水稻農林一號	昭和十七年五月	新潟縣立農事試驗場	新潟、石川

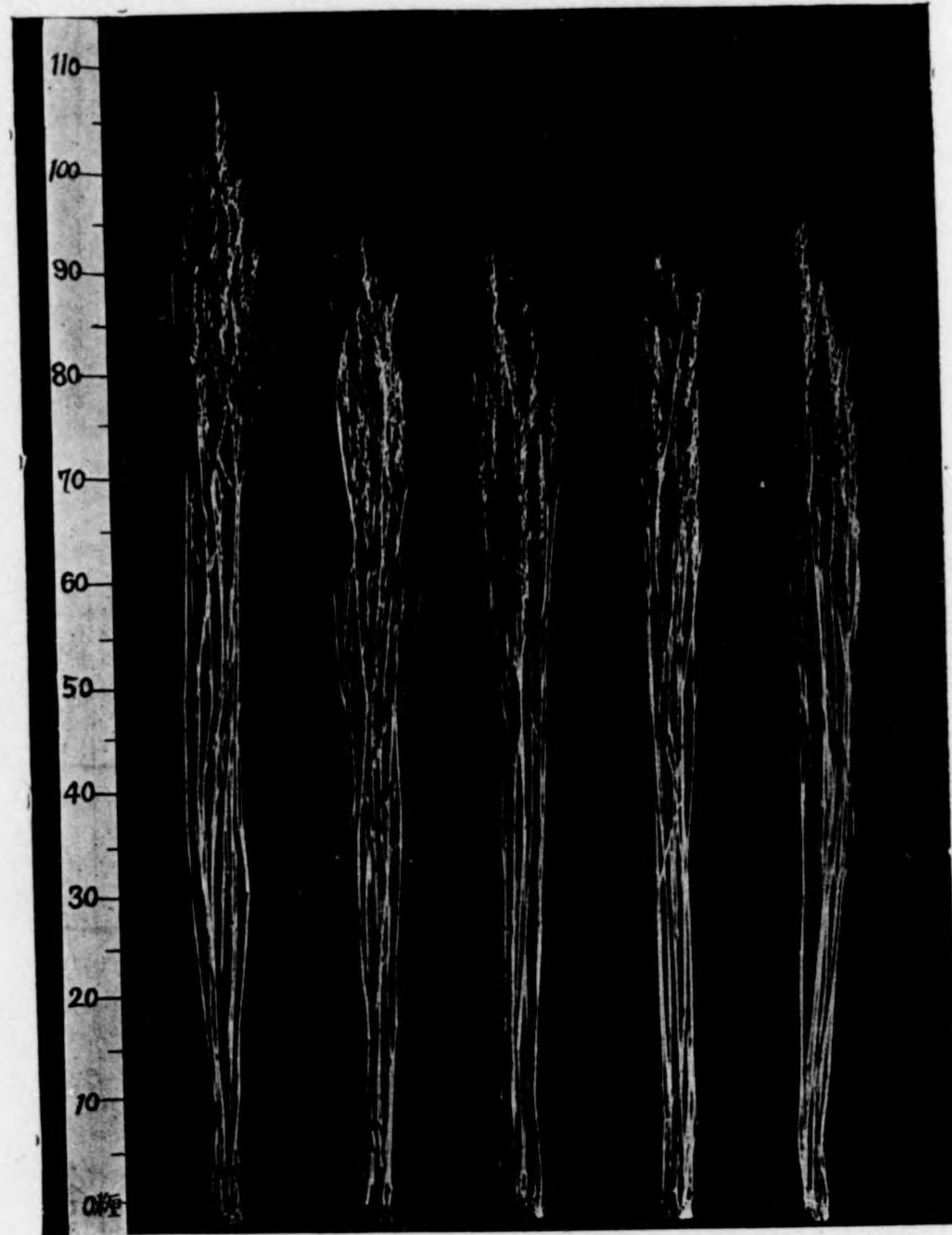
第二圖版



(比較) 坊主六號 水稻農林二十號 (比較) 早生富國
(昭和十五年美深分場産 普通栽培(直播)材料=依ル)
標尺1目盛 5 種



第三圖版



(比較)
坊主五號

(比較)
富國

水稻農林二十號

(比較)
早生富國

(比較)
坊主六號

(昭和十五年美深分場産 温床苗栽培材料=依ル)
標尺1目盛 5 種

第 四 圖 版



(比較) 坊主六號 水稻農林二十號 (比較) 早生富國

(昭和十四年産 1本植材料=依ル)

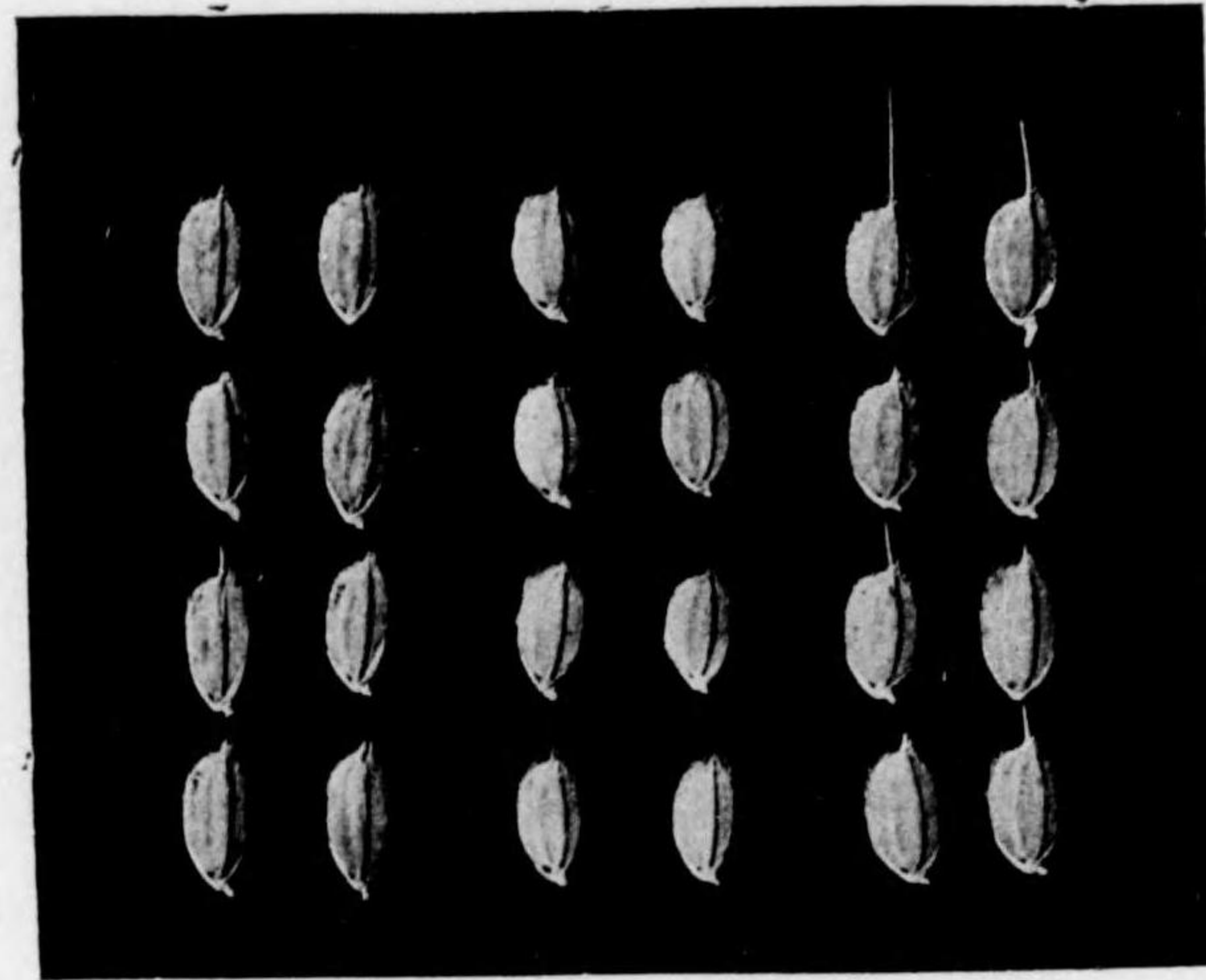
第五圖版



(比較) 坊主六號 水稻農林二十號 (比較) 早生富國

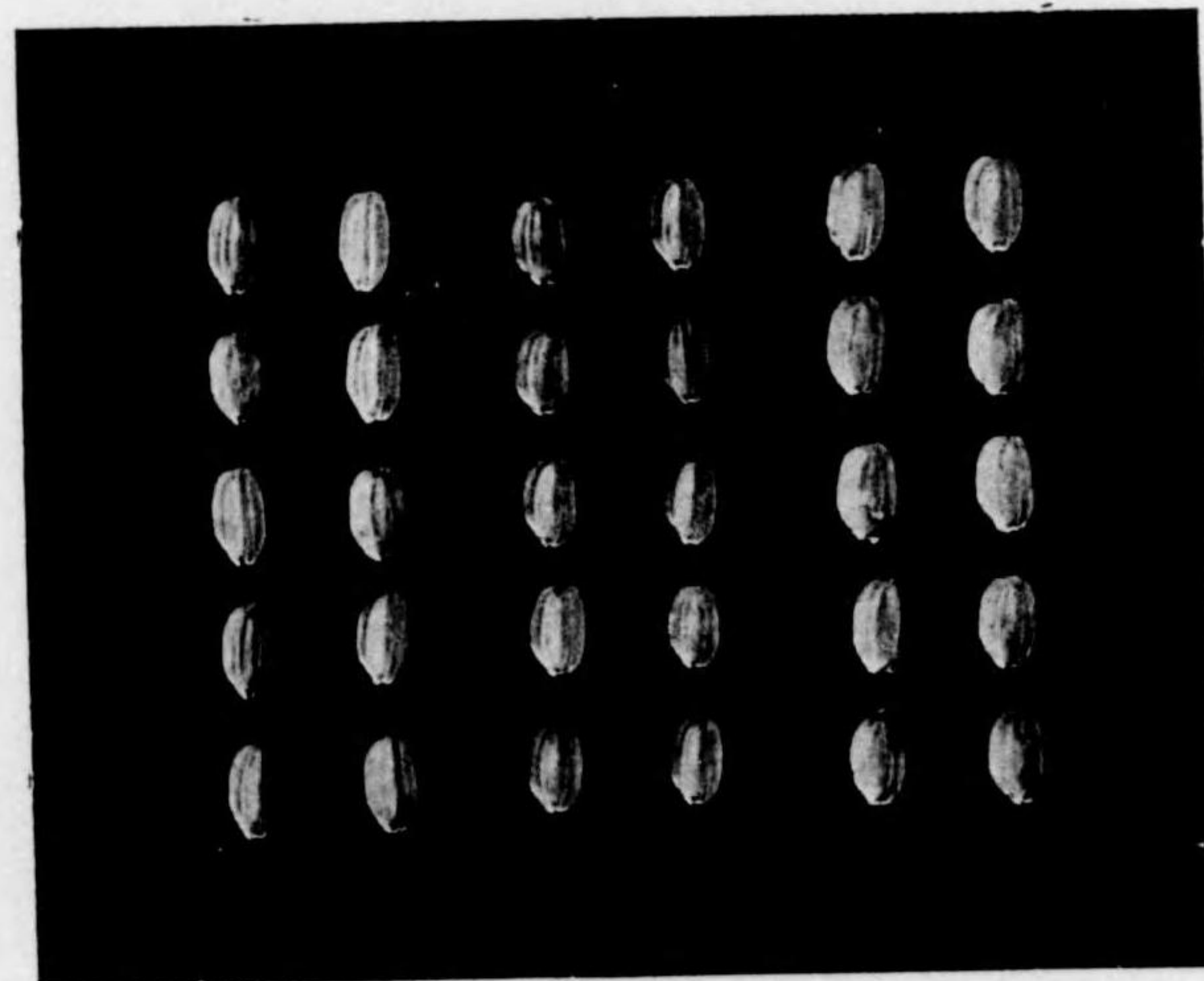
(昭和十四年産 1本植材料=依ル)
標尺1目盛 5 粒

第六圖版



(比較) 坊主六號 水稻農林二十號 (比較) 早生富國
〔 × 1.5 (長サ) 〕

第七圖版



(比較) 坊主六號 水稻農林二十號 (比較) 早生富國
〔 × 1.5 (長サ) 〕

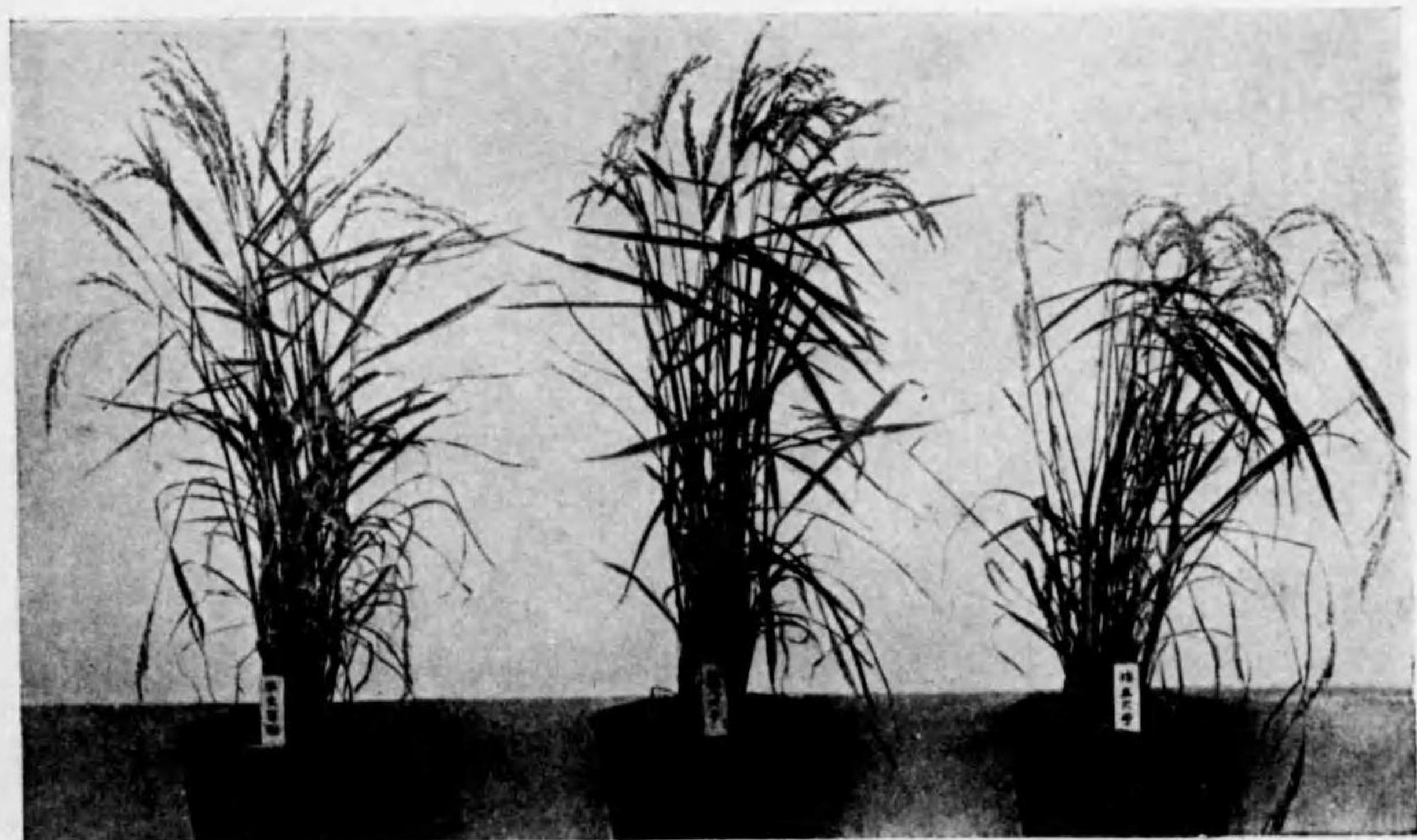
第八圖版



葉稻熱病被害狀況 (昭和十六年耐病性檢定試驗材料=依ル)

(比較) 石狩白毛 (比較) 走坊主二號 (比較) 早生白毛 (比較) 富國 (比較) 坊主六號 (比較) 早生富國 水稻農林二十號 (比較) 水稻農林十五號

第九圖版



穗稻熱病被害狀況 (昭和十五年耐病性檢定試驗材料=依ル)

(比較) 早生富國 水稻農林二十號 (比較) 坊主六號

目次

第一 來歴並ニ育成經過……………一

第二 特性概要……………二

第三 試驗成績……………三

(イ) 農林省指定水稻新品種育成試驗成績……………三

(一) 生育觀察及生育調査成績……………三

(二) 特性調査成績……………四

(三) 收量調査成績……………五

(四) 品質調査成績……………八

(ロ) 各地農事試驗機關ニ於ケル試驗成績……………九

附録一 配付先町村ニ於ケル試驗成績……………一三

(一) 上川支廳管内ニ於ケル試作成績……………一三

(二) 留萌支廳管内ニ於ケル試作成績……………一六

(三) 空知支廳管内ニ於ケル試作成績……………一七

附録二 系統育成試驗成績表……………一九

水稻農林二十號ニ就テ

第一 來歴並ニ育成經過

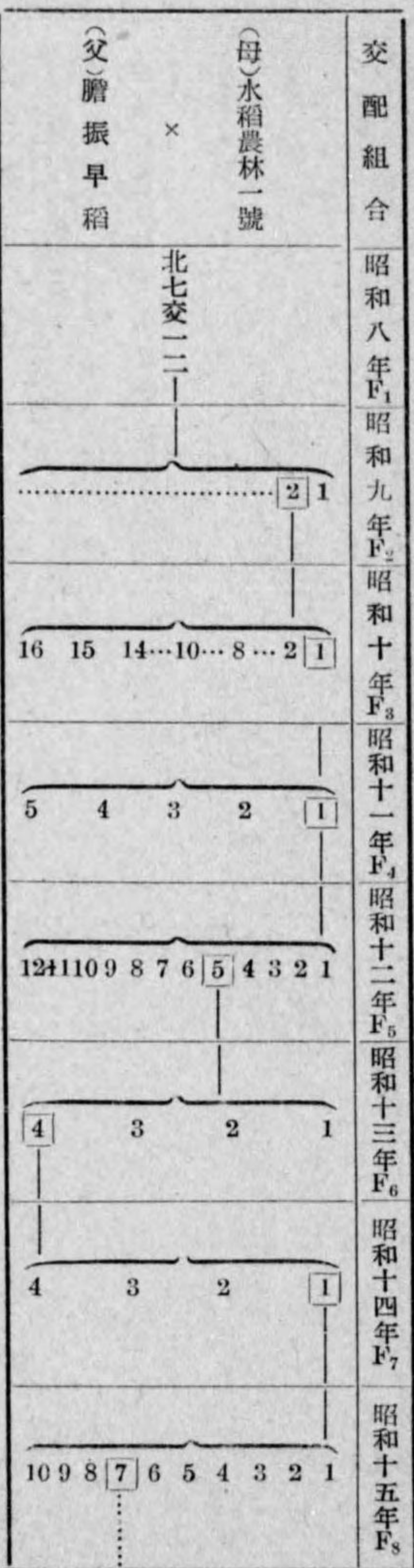
「水稻農林二十號」ハ北海道農業試驗場上川支場内ニ於ケル農林省指定水稻新品種育成試驗ニ於テ昭和七年ニ「水稻農林一號」(新潟縣原産)ヲ母トシ「膽振早稻」ヲ父トシテ人工交配ヲ行ヒ、爾來選抜固定ヲ圖リ育成セルモノニシテ、昭和十二年四月以降ハ「昭二二一六A」ナル假稱名ヲ以テ、更ニ昭和十五年四月以降ハ「北海八六號」ナル系統名ヲ以テ道内各地ニ之ガ種子ヲ配付シテ地方的適否ヲ確メ、昭和十六年四月「水稻農林二十號」ナル品種名ヲ附セルモノナリ。
之ガ育成經過ノ概要次ノ如シ

(一) 選 抜 經 過

交配組合	世 代		第 一 代	第 二 代	第 三 代	第 四 代	第 五 代	第 六 代	第 七 代	第 八 代
	又ハ選抜系統	栽培系統	(昭和八年)	(昭和九年)	(昭和十年)	(昭和十一年)	(昭和十二年)	(昭和十三年)	(昭和十四年)	(昭和十五年)
(母) 水稻農林一號	栽植系統	栽植系統	10	10	39	10	7	13	16	15
×	栽植系統	栽植系統	10	960	39	43	81	71	77	150
	各系栽植株數	各系栽植株數	10	10	105	110	110	110	110	110
(父) 膽振早稻	選抜系統	選抜系統	10	39	43	82	71	77	150	17
	選抜個體數	選抜個體數	10	39	43	82	71	77	150	17

備考 (1) 本表ハ本組合セ内ニ於ケル選抜經過ナリ。
(2) 雜種第一代並ニ雜種第二代ノ各系栽植株數ハ栽植個體數ナリ。

(二) 育成系統圖



第二特性概要

「水稻農林二十號」ハ「走坊主二號」ニ比スレバ出穂並ニ成熟稍晩キモ「富國」並ニ「坊主五號」ニ比スレバ約四日内外早熟ニシテ「早生富國」及ビ「坊主六號」位ノ早サノ早生梗種ナリ。

稈長ハ「早生富國」乃至「富國」或ハ「走坊主二號」乃至「坊主六號」程度ニシテ早生種トシテハ中位ニ屬シ、「坊主五號」ニ比スレバ短キモ、草狀極メテ良好ナリ。

分蘖ハ「富國」乃至「早生富國」程度ニシテ中位ニ屬シ、「走坊主二號」並ニ「坊主五號」ニ比スレバ多ク、株張り良好ナリ。

稈ノ太サハ中位ニシテ其ノ質ハ「走坊主二號」並ニ「坊主五號」ノ如ク粗剛ナラズシテ強靱ナレバ葉利用上有利ナルベク、又倒伏極難ニシテ耐肥性並ニ稻熱病ノ耐病性强ク特ニ耐病性程度ハ從來品種ニ比シ格段ノ相違アリテ「水稻農林十五號」ニ匹敵スルヲ以テ安全性ニ富ムモノト認ム。

穗型ハ太ク短ク、粒着甚ダ密ニシテ稈質性高ク整一、稈色鮮黄白色ニシテ稈先紅色ヲ呈スルヲ以テ他品種トノ識別比較的容易ナリ。

又本種ハ發芽並ニ稚苗ノ生育良好ニシテ速ク、葉長、葉幅並ニ葉色等ハ兩親ノ中間性ヲ表ハシ「富國」並ニ「早生富國」ヨリハ幅廣ク、濃ク透明色ヲ呈シ「走坊主二號」ヨリハ幅廣ク淡色、垂狀ヲ呈シ、「坊主六號」並ニ「坊主五號」ヨリハ幅狭ク、濃色、稍直立スルヲ以テ識別シ易

スカルベシ。

玄米ノ形狀ハ中粒ノ短ニシテ「早生富國」並ニ「富國」ニ比シ稍小粒ナレドモ豐滿ニシテ餡色濃ク、黒蝕米、銹米等ノ如キ汚米ノ混入少ナク粒揃ヒ色澤共ニ良好ナレバ品質優リ検査等級ノ如キモ上位ナリ。特ニ温床苗移植栽培ニ於テコノ傾向顯著ナリ。食味ハ一般ノ嗜好ニ適シ道産米トシテハ著シク粘氣ニ富ミ風味佳良ニシテ府縣産米ニ匹敵スルトノ好評アリ。本種ノ收量、早生梗種トシテ極多收ニ屬シ、試験成績ニ徴スルモ現在早生梗種トシテ最多收ヲ示ス「早生富國」ニ比シテ二割内外ノ増收ヲ示シ、更ニ中生種ノ最多收種ニシテ作付面積ノ首位ヲ占ムル「富國」ニ比シ優ルトモ劣ラザル多收ヲ示セリ。特ニ肥沃地ニ於ケル普通地ニ對スル、或ハ温床苗移植栽培ノ直接栽培ニ對スル増收率顯著ナリ。

之ヲ要スルニ本種ハ既存ノ早生型獎勵品種ヨリハ遙カニ多收ニシテ草狀並ニ品質良ク、生育旺盛ニシテ耐肥性並ニ耐病性强ク安全性ニ富ミ、氣候、土地、耕種法等ニ對スル適應範圍廣ク、中生種ノ代表的獎勵品種タル「富國」及ビ「坊主五號」等ニ敢テ劣ラザル實用性ヲ有シ、前述ノ如キ其ノ特性ノ跋行的ナラザル點ヨリ考察スレバ管ニ稻作期間短ク必然的ニ早生種ヲ必要トスル道北地方ノミナラズ、稻作期間ノ氣候ニ惠マルル上川、空知等ノ如キ中生種地帯及ビ瀨棚、贈振等ノ如キ道南ノ中晩生種地帯ニモ品種ノ早晚性配合上好適スルトコロ多シト認ム。

第三試驗成績

(1) 農林省指定水稻新品種育成試驗成績

(一) 生育觀察及生育調查成績

品 種 名	試驗年次	發芽期	發芽 良否	苗ノ 生育	出穂始 出穂期	出穂 出穂期	總出穂 日數	日數	成 熟 期	日數	結實 生育	倒伏ノ 日數	多 少	稻熱病 ノ 多少	稻熱病 負他其ノ 害多	稈長	穗長	穗數	有 効 歩 合
水稻農林二十號	自昭和十二年	五月九日	良	良	七月三日	八月一日	四日	七七日	九月六日	三六日	一二日	無	無	無	無	六四	一四一	三一	八三
(比較)早生富國	至同	五月九日	良	中	七月三日	八月一日	四日	七七日	九月六日	三六日	一二日	無	無	無	無	六四	一三六	三三	八三
(比較)坊主六號	至同	五月九日	良	中	七月三日	八月一日	四日	七七日	九月六日	三六日	一二日	無	無	無	無	六四	一三六	三三	八三
(比較)走坊主二號	四箇年平均	五月九日	良	中	七月三日	八月一日	四日	七七日	九月六日	三六日	一二日	無	無	無	無	六四	一三六	三三	八三

品名	試驗年次	發芽期	發芽 良否	發芽 生育	出穂始 出穂期	出穂揃 出穂期	穂割 日數	出穂 日數	成熟期	結實 日數	生育 倒伏ノ 多少	稻熱病 其ノ 多寡	稻熱病 他ノ 病害ノ 多寡	稈長	穂長	穂數	有効莖 歩合
水稻農林二十號	同	五二〇	良	中	七二八	七二九	四〇	三〇	七四〇	三九	無	無	無	七三	一四〇	二九	六六
(比較)早生富國	同	五二〇	良	中・速	七二八	七二九	四〇	三〇	七四〇	三九	無	無	無	七三	一四〇	二九	六六
(比較)坊主六號	同	五二〇	良	中	七二九	七三〇	四〇	三〇	七四〇	三九	無	無	無	七三	一四〇	二九	六六
(比較)走坊主二號	同	五二〇	良	中	七二八	七二九	四〇	三〇	七四〇	三九	無	無	無	七三	一四〇	二九	六六
(比較)富國	同	五二〇	良	中	七二八	七二九	四〇	三〇	七四〇	三九	無	無	無	七三	一四〇	二九	六六
(比較)坊主五號	同	五二〇	良	中	七二八	七二九	四〇	三〇	七四〇	三九	無	無	無	七三	一四〇	二九	六六

備考 一、本成績ハ標準栽培區ニ於ケル調査成績ニシテ、坪當株數ハ七十二株、一株當播種粒數ハ二〇粒内外、一株當苗立本數ハ一五本内外、播種期ハ昭和十四年ノ五月十七日及同十五年ノ五月十五日ナルヲ除ケバ各年共五月十六日ナリ。

二、昭和十五年度ハ春季ヨリ中夏ニ互リ氣候不順ニシテ變則ヲ極メ、稻熱病ノ被害甚延激甚ニシテ特ニ出穂後ニ於ケル生育ハ歪メラレ、成熟期ハ稍長、穂長、穂數及有効莖歩合等ニ關スル調査ハ正鵠ヲ期シ難キヲ以テ四箇年平均ヨリ除外シ三箇年平均トセリ。猶ホ「富國」ヲ供試セルハ昭和十二年及同十五年ノ二箇年ナルモ昭和十五年ハ稻熱病害ノ爲成績攪亂セシメラレ、又「坊主五號」ハ昭和十二年ノ供試セリ。

三、比較品種ハ孰レモ北海道ニ於ケル主要獎勵品種ナリ。以下同斷。

(二) 特性調査成績

品名	葉色	葉幅	葉長	委性	稈ノ細太	稈ノ剛柔	芒ノ多少	芒ノ長短	稈ノ先ハ稈又ハ稈	稈ノ色	粒着	稈密着	米形狀	米大小	概品質	草狀	草狀	倒伏性	稻熱病ニ對スル耐性	
																				鮮綠
水稻農林二十號	鮮綠	中	中	稍垂	中	稍剛	無	短	紅	濃黃白	疎密	中ノ短豐滿	中ノ短豐滿	中ノ短豐滿	中ノ短豐滿	中ノ短豐滿	中ノ短豐滿	中ノ短豐滿	中ノ短豐滿	中ノ短豐滿
(比較)早生富國	鮮綠	中	中	稍垂	中	稍剛	無	短	紅	濃黃白	疎密	中ノ短豐滿	中ノ短豐滿	中ノ短豐滿	中ノ短豐滿	中ノ短豐滿	中ノ短豐滿	中ノ短豐滿	中ノ短豐滿	中ノ短豐滿
(比較)坊主六號	鮮綠	中	中	稍垂	中	稍剛	無	短	紅	濃黃白	疎密	中ノ短豐滿	中ノ短豐滿	中ノ短豐滿	中ノ短豐滿	中ノ短豐滿	中ノ短豐滿	中ノ短豐滿	中ノ短豐滿	中ノ短豐滿
(比較)走坊主二號	鮮綠	中	中	稍垂	中	稍剛	無	短	紅	濃黃白	疎密	中ノ短豐滿	中ノ短豐滿	中ノ短豐滿	中ノ短豐滿	中ノ短豐滿	中ノ短豐滿	中ノ短豐滿	中ノ短豐滿	中ノ短豐滿
(比較)富國	鮮綠	中	中	稍垂	中	稍剛	無	短	紅	濃黃白	疎密	中ノ短豐滿	中ノ短豐滿	中ノ短豐滿	中ノ短豐滿	中ノ短豐滿	中ノ短豐滿	中ノ短豐滿	中ノ短豐滿	中ノ短豐滿
(比較)坊主五號	鮮綠	中	中	稍垂	中	稍剛	無	短	紅	濃黃白	疎密	中ノ短豐滿	中ノ短豐滿	中ノ短豐滿	中ノ短豐滿	中ノ短豐滿	中ノ短豐滿	中ノ短豐滿	中ノ短豐滿	中ノ短豐滿

備考 一、本成績ハ標準栽培區ニ於ケル昭和十二年至同十五年ノ觀察結果ニ據レルモ、倒伏性ニ關シテハ各種試驗並ニ試作成績ヲモ考察シテ概評セリ。

二、葉色、葉幅、葉長及委性ハ分蘗初期ニ於ケル觀察ニ據ル。

三、稻熱病ニ對スル耐病性ハ耐病性檢定試驗成績並ニ各種試驗及試作等ノ成績ヲ綜合考察シテ概評セリ。

(三) 收量調査成績

北海道ニ於ケル農林省指定水稻新品種育成試驗、道内ニ於ケル試驗機關ニ依リ試驗及ビ配付先ニ於ケル町村ノ試作等ノ成績ニ據レバ、「水稻農林二十號」ハ早生種トシテハ著シク多收ニ屬スト認メラル。仍テ本種ハ早生種ナルニ拘ラズ、中生種ノ最多收種ニシテ全道稻作面積ノ約四割ニ及ンデ作付セラル。「富國」ニ何等遜色ナキノミカ寧ロ優良收量ヲ示シ、勿論其ノ他ノ早中生種ノ代表的獎勵品種ニ對比シテ格段ノ增收ヲ示ス状態ナリ。偶々昭和十五年ハ氣候不順ニシテ或ハ稻熱病ノ大被害ニ依リ、或ハ冷害ニ依リ、獎勵品種ノ「富國」「早生富國」「坊主六號」其ノ他主要品種ガ不測ノ大減收ヲ示シタルニ對シ、本種ハ耐病性強ク、安全性高キ關係ヨリ被害輕微ナルヲ得テ普通作ヲ收メ、其ノ優秀性ヲ發揮シタル次第ナリ。其ノ成績ヲ示セバ次ノ如シ。

(1) 試驗別收量調査成績

品名	試驗年次	標準栽培		多肥栽培	
		反當玄米量	反當玄米量	反當玄米量	反當玄米量
水稻農林二十號	昭和十二年	一一五・一	一一〇・八	一二七・〇	一二七・〇
	昭和十三年	一一〇・三	一〇八・一	一二七・〇	一二七・〇
	昭和十四年	九九・四	一〇八・一	一二七・〇	一二七・〇
	昭和十五年	六九・〇	二六・三	九八・四	七〇・七
自昭和十二年同十四年三箇年平均		一〇八・二	一〇九・九	一〇七・七	

品名	試驗區別	早生富國		坊主六號		富國		走坊主二號		水稻農林十五號	
		B	A	B	A	B	A	B	A	B	A
品名	試驗區別	昭和三十二年	昭和三十二年	昭和三十二年	昭和三十二年	昭和三十二年	昭和三十二年	昭和三十二年	昭和三十二年	昭和三十二年	昭和三十二年
期發	發芽生育	九四九	九四九	九四九	九四九	九四九	九四九	九四九	九四九	九四九	九四九
始穗出	始穗出	一〇一三	一〇一三	一〇一三	一〇一三	一〇一三	一〇一三	一〇一三	一〇一三	一〇一三	一〇一三
期穗出	日數	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七
日數	日數	九六	九六	九六	九六	九六	九六	九六	九六	九六	九六
期熟成	期熟成	九三三	九三三	九三三	九三三	九三三	九三三	九三三	九三三	九三三	九三三
倒伏	倒伏	五二	五二	五二	五二	五二	五二	五二	五二	五二	五二
病害	病害	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二
長稈	長稈	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三
長穗	長穗	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二
數穗	數穗	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九
合莖有歩	合莖有歩	九三	九三	九三	九三	九三	九三	九三	九三	九三	九三
反當重量	反當重量	七三	七三	七三	七三	七三	七三	七三	七三	七三	七三
率ノ區對	率ノ區對	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
容支反當	容支反當	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
率種較對	率種較對	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
精粒	精粒	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
歩合	歩合	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
品質	品質	中下	中下	中下	中下	中下	中下	中下	中下	中下	中下

備考 (1) 標準栽培區ニ於ケル反當施肥量ハ堆肥二〇〇貫匁、魚粕四貫匁、硫酸アムモニヤ三貫匁、過磷酸石灰六貫匁、硫酸加里一貫匁ニシテ、多肥栽培區ニ於ケル反當施肥量ハ標準栽培區ノ金肥ノ五割増ナリ。

(2) 其ノ他耕種法ハ試驗成績ノ(一)ニ準ジ特記スベキ事項ナシ。

(2) 參考試驗成績

(1) 密播栽培ニ關スル調査成績 (昭和十五年)

品名	試驗區別	早生富國		坊主六號		富國		走坊主二號		水稻農林十五號	
		B	A	B	A	B	A	B	A	B	A
品名	試驗區別	昭和三十二年	昭和三十二年	昭和三十二年	昭和三十二年	昭和三十二年	昭和三十二年	昭和三十二年	昭和三十二年	昭和三十二年	昭和三十二年
期發	發芽生育	九四九	九四九	九四九	九四九	九四九	九四九	九四九	九四九	九四九	九四九
始穗出	始穗出	一〇一三	一〇一三	一〇一三	一〇一三	一〇一三	一〇一三	一〇一三	一〇一三	一〇一三	一〇一三
期穗出	日數	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七	二二七
日數	日數	九六	九六	九六	九六	九六	九六	九六	九六	九六	九六
期熟成	期熟成	九三三	九三三	九三三	九三三	九三三	九三三	九三三	九三三	九三三	九三三
倒伏	倒伏	五二	五二	五二	五二	五二	五二	五二	五二	五二	五二
病害	病害	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二
長稈	長稈	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三
長穗	長穗	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二
數穗	數穗	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九
合莖有歩	合莖有歩	九三	九三	九三	九三	九三	九三	九三	九三	九三	九三
反當重量	反當重量	七三	七三	七三	七三	七三	七三	七三	七三	七三	七三
率ノ區對	率ノ區對	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
容支反當	容支反當	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
率種較對	率種較對	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
精粒	精粒	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
歩合	歩合	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
品質	品質	中下	中下	中下	中下	中下	中下	中下	中下	中下	中下

備考 (1) 播種密度ハ坪當株數及一株苗立數ノ多少ヲ組合セ普通播種ノ場合ハ標準密度ニシテ坪當株數七・二株(畦間七・五寸、株間六・六寸)一株本數一五本内外密播區ハ坪當株數九十株(畦間一尺株間四寸)一株本數一〇本内外トシ試驗セリ。

(2) 反當施肥量ハ標準施肥量ナリ。

- (3) 播種期ハ五月十五日ナリ。
 - (4) 其ノ他耕種法ハ標準耕種法ニ準ゼリ。
 - (5) 比較品種ノ收量ハ「水稻農林十五號」以外ノモノハ稻熱病害激甚ノタメ正鵠ヲ期シ難キ憾ミ多シ。
- (II) 温床苗移植ニ關スル試験成績 (昭和十五年)

品 種 名	苗代様式	活苗ノ良否	出穂始	出穂期	出穂日	穂長	穂數	有効莖	反當米	比率	反當米	品質
水稻農林二十號	折衷苗	+	七三〇	七三〇	八二二	七三	一六六	一〇〇	九三	一〇〇	二二五	上ノ下
早生富國	折衷苗	+	七三九	七三九	八二二	七三	一六六	一〇〇	九三	一〇〇	二二五	中ノ中
坊主六號	折衷苗	+	七三三	七三三	八二二	七三	一六六	一〇〇	九三	一〇〇	二二五	中ノ中
富國	折衷苗	+	七三三	七三三	八二二	七三	一六六	一〇〇	九三	一〇〇	二二五	中ノ中
水稻農林十五號	折衷苗	+	七三三	七三三	八二二	七三	一六六	一〇〇	九三	一〇〇	二二五	中ノ中

「水稻農林二十號」ハ道内ニ於ケル普通一般品種ニ比較シ良質ニシテ精白歩合高シ。食味ハ粘氣ニ富ミ色澤並ニ風味良好ニシテ從來品種ニ優

敢テ府縣産品種ノ風味ニ遜色ナシトノ概評ヲ得タリ。

備考 (1) 折衷苗トハ水陸折衷苗代ニ障子ヲ被覆シ温床苗代育苗技術ヲ或ル程度應用セル新工夫ノ育苗法ニ依ルモノニシテ、温床苗代ニ依ル育苗法ヨリハ管理上有利ニシテ容易ニ強健ナル良苗ヲ養成シ得ラレ成績モ敢テ遜色ナシ。

(2) 反當本田施肥量ハ標準施肥量ナリ。

(3) 苗代播種期及本田挿秧期ハ温床苗ハ四月二十五日播五月二十九日播、折衷苗ハ四月三十日播五月二十九日播ニシテ、本田挿秧ノ際ニ於ケル坪當株數並ニ一株栽種本數ハ孰レモ九〇株(畦間一尺、株間四寸)三本植ナリ。

(四) 品質調査成績

品 種 名	升重	玄米一〇〇重粒量	心白	腹白	胴割	剛度	玄米ノ色澤	概評	検査等級	七分搗	七分搗	七分搗	食味
水稻農林二十號	四〇二	二二六	少	中	無	六三	濃	中ノ上	二一三	九八〇	九三三	三六九	良
早生富國	三九三	二二五	少	中	無	四九	中	中ノ上	三二五	九三三	九一三	三六〇	中
坊主六號	三九五	二〇二	中	少	無	四九	稍不	中ノ中	三二五	九三三	九一三	三六〇	中
走坊主二號	三九一	二二六	中	少	無	四九	淡	中ノ中	三二五	九三三	九一三	三六〇	中
富國	三九二	二二六	中	少	無	四九	中	中ノ上	三二五	九三三	九一三	三六〇	中

備考 本表ハ自昭和十二年同十五年四箇年平均成績ナルモ、「富國」ハ昭和十二年及同十五年ノ二箇年平均、精白歩合並ニ白米一升重量ハ昭和十五年一箇年ノ成績ナリ。

北海道農業試験場上川支場ニ於テ本品種育成ニ直接從事セル職員氏名左ノ如シ

元北海道農林技師 平 田 義 祐
 (現秋田縣地方技師)
 北海道廳技師 吉 野 至 徳

(口) 各地農事試験機關ニ於ケル試験成績

品 種 名	出穂期	出穂日	結實	生育	倒伏	草丈	穂長	反當米	平均	割合	反當米	反當米	一升米	品質	備 考
水稻農林二十號	八二二	八二二	九三〇	二九	無	二七	二九	二八	二九	二八	二九	二九	中ノ下	〇内數字ハ平均	
早生富國	八二二	八二二	九三〇	二九	無	二七	二九	二八	二九	二八	二九	二九	中ノ下	〇内數字ハ平均	
坊主六號	八二二	八二二	九三〇	二九	無	二七	二九	二八	二九	二八	二九	二九	中ノ下	〇内數字ハ平均	
走坊主二號	八二二	八二二	九三〇	二九	無	二七	二九	二八	二九	二八	二九	二九	中ノ下	〇内數字ハ平均	
富國	八二二	八二二	九三〇	二九	無	二七	二九	二八	二九	二八	二九	二九	中ノ下	〇内數字ハ平均	

俱知安分場

Table with columns for (肥準標) 播直, 法培栽, 品種名, 出穂期, 日迄出穂, 成熟期, 結實日數, 生育日數, 倒伏, 病害, 草丈, 穗長, 穗數, 反當支米收量, 平均, 收量, 容文反當, 重莖反當, 重一支米, 品質, 備考.

日高分場

Table with columns for (肥準標) 播直, 法培栽, 品種名, 出穂期, 日迄出穂, 成熟期, 結實日數, 生育日數, 倒伏, 病害, 草丈, 穗長, 穗數, 反當支米收量, 平均, 收量, 容文反當, 重莖反當, 重一支米, 品質, 備考.

十勝支場

Table with columns for (肥準標) 播直, 法培栽, 品種名, 出穂期, 日迄出穂, 成熟期, 結實日數, 生育日數, 倒伏, 病害, 草丈, 穗長, 穗數, 反當支米收量, 平均, 收量, 容文反當, 重莖反當, 重一支米, 品質, 備考.

本場

Table with columns for 直, 法培栽, 品種名, 出穂期, 日迄出穂, 成熟期, 結實日數, 生育日數, 倒伏, 病害, 草丈, 穗長, 穗數, 反當支米收量, 平均, 收量, 容文反當, 重莖反當, 重一支米, 品質, 備考.

美深分場

Table with columns for (肥準標) 苗床温移, 品種名, 出穂期, 日迄出穂, 成熟期, 結實日數, 生育日數, 倒伏, 病害, 草丈, 穗長, 穗數, 反當支米收量, 平均, 收量, 容文反當, 重莖反當, 重一支米, 品質, 備考.

(空 知)
内 陸
高 地
又 八 山 間 部
(冷 害 地)

村別	別号	内加	上		龍		雨		新		形		月
			加	上	村	土	土	土	土	土	土	土	札
富	坊	早	水	水	坊	坊	坊	坊	坊	坊	坊	坊	水
主	主	生	稻	稻	主	主	主	主	主	主	主	主	稻
六	六	富	農	農	五	五	五	五	五	五	五	五	農
號	號	國	林	林	號	號	號	號	號	號	號	號	林
國	國	號	二	二	國	國	國	國	國	國	國	國	二
			十	十									
			昭	昭									
			五	五									
			年	年									
			和	和									
八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八
九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二

備考
一、空知支廳管内ノ各町村共草丈ナリ。
二、昭和十五年度ノ「水稻農林二十號」以外ノ成熟期、生育調査其ノ他數量ハ稻熱病ノ大發生被害ニ因リ正偽ヲ期シ難キ場合多シ。
三、試作ハ各地共地方ノ標準耕種法ニ據レリ。

附録二 系統育成試験成績表

(註)
(1) 本表ハ一本種ノ場合ノ成績ナリ。
(2) 本表ニハ選抜系統又ハ選抜系統群ノミノ成績ヲ記載セリ。
(3) 本表中ノ空欄ハ其ノ欄ノ記載事項ノ調査以前ニ棄却セルヲ以テ調査ヲ缺クモノトス。
(4) 本表中Sナル記號ハ當該形質ノ固定不充ナルコトヲ示ス。
(5) 備考欄ノ○印ハ選抜系統トス。

一 交配成績 (昭和七年)

主要育種目標	交配番號	交配組合セ	出穂ノ調節	授粉	結實	備考
極早生種及早生種ノ多收良質化ニアリ	北七交一二	母 父	母 父	粒數	粒數	天候不良ノ爲出穂著シク結實劣レリ
	水稻農林一號	贈振早稻	短日	自然	六本	

二 雜種第一代養成成績表 (昭和八年)

交配組合セ及ビ交配番號	出穂收獲	出穂期	穗長	穂數	一株一株	平均	穗重	歩合	稈重	稈重	歩合	稈色	芒	芒又ハ稈先色	備考
(母) 水稻農林一號 (父) 贈振早稻	短日 自然	八二日 八八日	七〇 七二	一八七 一八七	四〇 四二	二二 二二	一三 一三	五九 五九	五九	五九	五九	黄白	無	淡紅	タリシ苗ニテ成シテ六月四日日本田ニ挿秧セ
															F ₁ 種子ハ昇承ニテ五分ノ濃ニテ消毒シ

系統番號及比較品種名	始穗出	期穗出	摘穗出	日數	摘倒伏	病害	稈	稈	數	全重	稈重	平均	粒着	稈	色	稈	芒	長短	品質	備考	
																					多
(比較) 走坊主二號	八二	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	○
北七交(三三)	七三	八二	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	○

註 本年度六月中旬及七月中旬以後夏季ノ天候陰冷不順ニシテ一般ニ前年同様冷害ヲ被リ、生育遲延シ稈實障害大ナリキ。

(五) 雜種第四代系統育成試驗成績表 (昭和十一年)

系統番號及比較品種名	始穗出	期穗出	摘穗出	日數	摘倒伏	病害	稈	稈	數	全重	稈重	平均	粒着	稈	色	稈	芒	長短	品質	備考	
																					多
(比較) 走坊主二號	七三	八二	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	○
北七交(三三)	七三	八二	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	○

系統番號及比較品種名	始穗出	期穗出	摘穗出	日數	摘倒伏	病害	稈	稈	數	全重	稈重	平均	粒着	稈	色	稈	芒	長短	品質	備考	
																					多
(比較) 走坊主二號	七三	八二	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	○
(比較) 踏振早稻	七三	八二	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	○
北七交(三三)	七三	八二	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	○

(六) 雜種第五代系統育成試驗成績表 (昭和十二年)

系統番號及比較品種名	始穗出	期穗出	摘穗出	日數	摘倒伏	病害	稈	稈	數	全重	稈重	平均	粒着	稈	色	稈	芒	長短	品質	備考	
																					多
(比較) 走坊主二號	七三	八二	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	○
北七交	七三	八二	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	○

Table of experimental results for various rice varieties. Columns include variety name, start/end dates, and detailed characteristics such as grain shape, color, and yield. Includes a table for the 'North 7th cross' (北七交) with sub-varieties 1 through 8.

(七) 雜種第六代系統育成試驗成績表

(昭和十三年)

Table of experimental results for various rice varieties, including detailed characteristics. Columns include variety name, start/end dates, and characteristics such as grain shape, color, and yield. Includes a table for the 'North 7th cross' (北七交) with sub-varieties 1 through 8.

昭和十八年三月二十日印刷
昭和十八年三月三十日發行

製本控 何第 號

書名	水稻農林二十号=研究	頁	20
著者	北海道農業試驗場編	年	
受入	昭和十八年九月二日	月	
備考		日	

北海道農業試驗場

石狩國札幌郡琴似町

市北一條西二丁目
安藤 勇 逸

印刷所

札幌市北一條西二丁目

札幌印刷株式會社

電話 九五八・二〇二三番

980

86

980

86

昭和十八年三月二十日印刷
昭和十八年三月三十日發行

北海道農業試驗場

石狩國札幌郡琴似町

札幌市北一條西二丁目

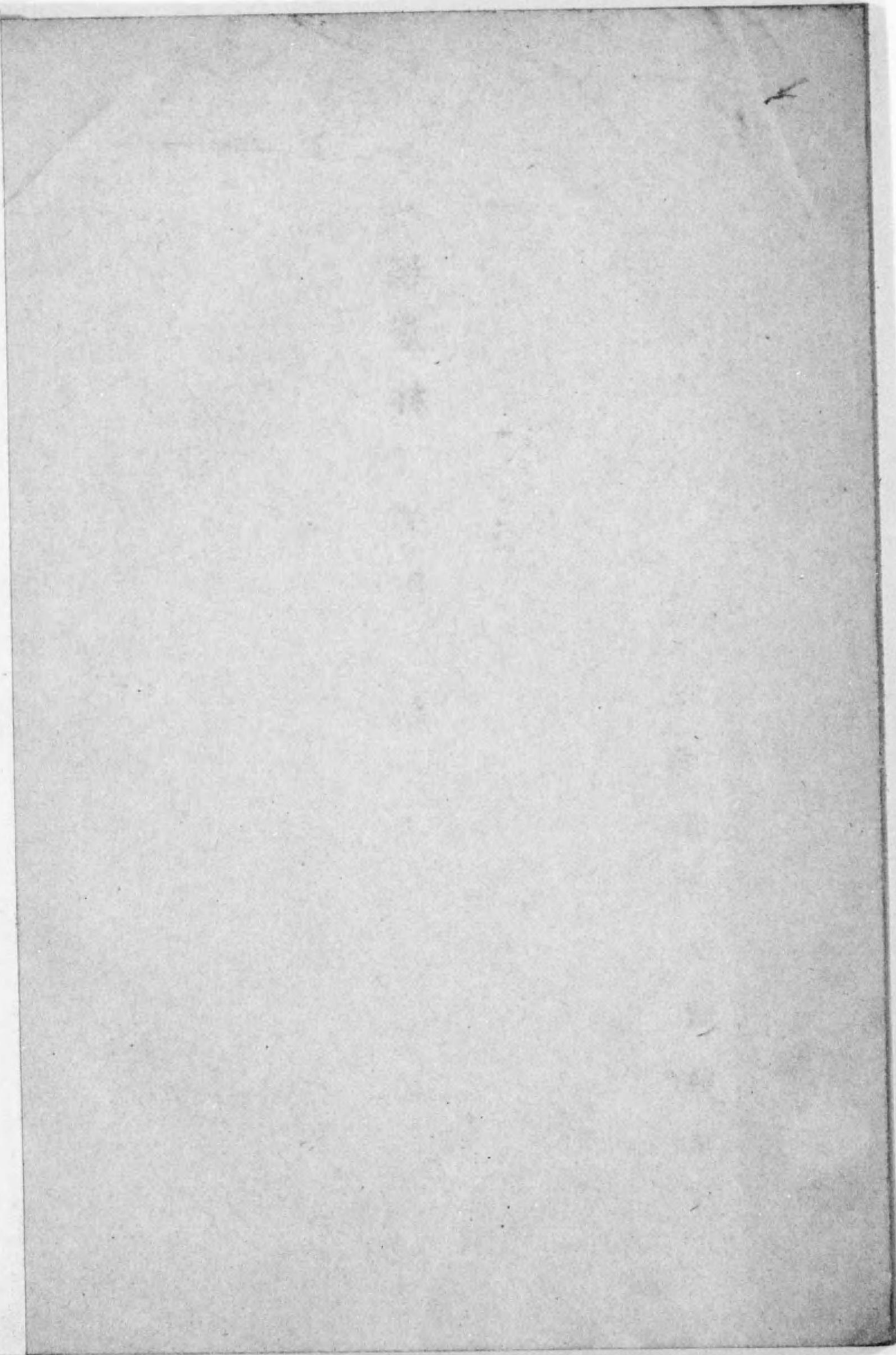
印刷者 安藤勇逸

札幌市北一條西二丁目

印刷所 (北札特) 札幌印刷株式會社

電話 九五八・二〇二番

980
76



終